

京のやきものと絵画



Ninsei & Kenzan

Ceramics and Painting in Kyoto

二大巨匠の名品一挙公開

2 11/3 → 2 4/1
[金・祝] [日]

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）／休館日：12月31日（日）、1月1日（月）

入館料：一般・大学生2,800円 小中高生1,800円

※団体割引（10名以上）・障害者割引あり／美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料無料

バス停「小涌園」より徒歩すぐ

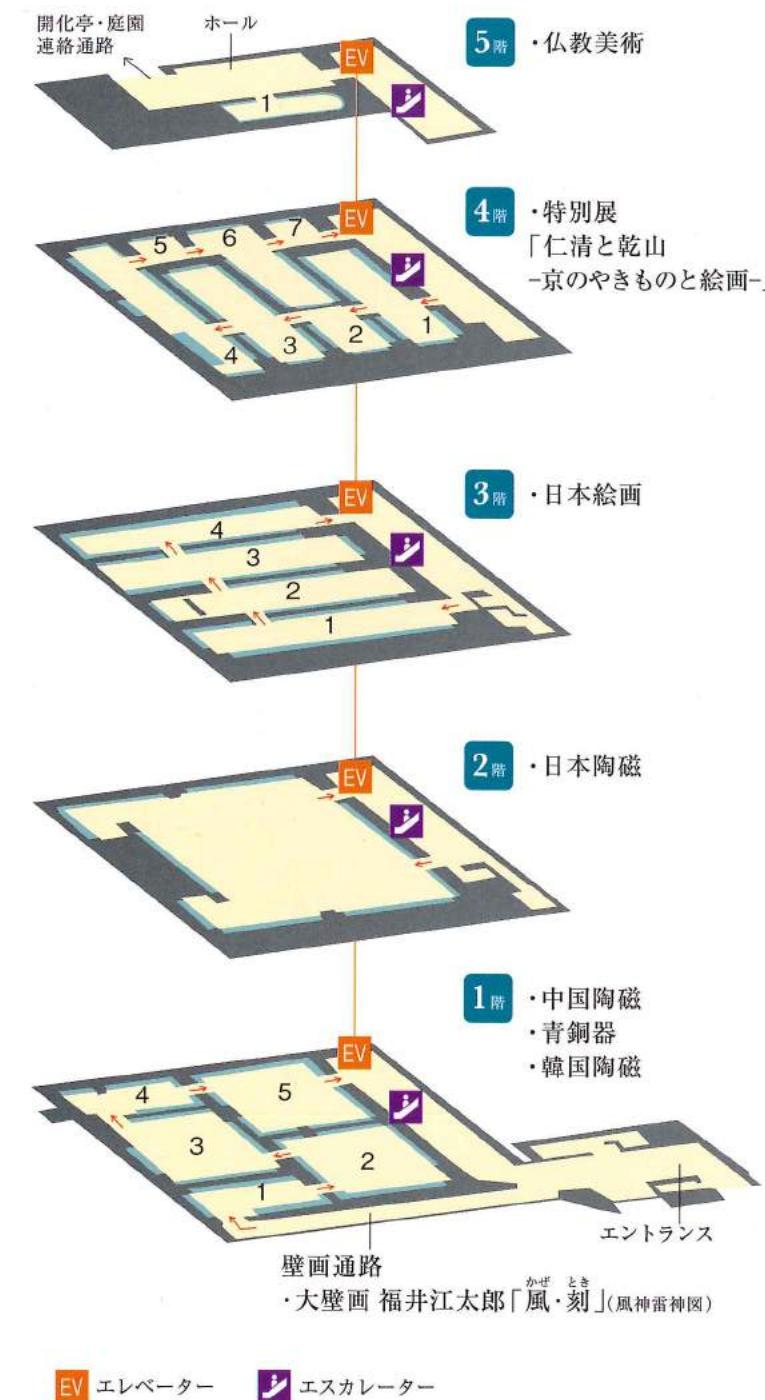
〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1 TEL:0460-87-3931(代表)

www.okada-museum.com 左：重要文化財 尾形乾山 色絵毫笔川文透彫反襷／右：野々村仁清 銀継雁首合

岡田美術館
OKADA MUSEUM OF ART

常設展示のご案内

岡田美術館は全5階、展示面積約5,000m²の館内に、常時約450点の美術品を展示しています。



5階展示室

重要文化財「木造薬師如来坐像」をはじめ、仏像や仏画、密教法具など祈りの世界をご覧いただけます。



3階展示室

四季折々の画題を描いた金屏風などを展示しています。



2階展示室

当館で最も広い展示室で、古九谷、鍋島といった富裕層向けの器から、日常使いの古伊万里まで、多様な肥前磁器をご覧いただけます。



青磁天鵝壺 越州窯
中国・南北朝時代 6世紀

アクセス

〈電車・バスをご利用の場合〉

新宿駅
から

東京駅
から

強羅駅
から

お車をご利用の場合 ※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。

東名厚木IC → 小田原厚木道路 → 箱根口IC → 国道1号線 → 岡田美術館 [約60分]
東名御殿場IC → 国道138号線 → 宮ノ下 → 国道1号線 → 岡田美術館 [約40分]



仁清と 京のやきものと絵画

乾山

江戸時代を代表する陶工、野々村仁清（生没年不詳）と尾形乾山（一六六三～一七四三）。京都で活躍した二人は、日本のやきものの歴史の中で最も有名な人物です。野々村仁清は鮮やかな色絵陶器を完成させた人物とされ、「京焼の祖」とも言われています。仁清の作り出された端正で雅やかな器は公家や大名家に重用されました。一方、尾形乾山は、仁清に続いて京焼を発展させ、兄・光琳との合作の絵皿など、絵画とやきものを融合させた、これまでにない革新的な器を生み出しました。

本展では、仁清の制作年月が判明する稀少な作品「色絵輪宝羯磨文香炉」や、華やかな秋の情景を凝縮した乾山の「色絵竜田川文透彫反鉢」を中心に、岡田美術館収蔵の仁清と乾山の作品を一堂に展示いたします。青、緑、金の色調と技巧を凝らしたデザインが魅力の古清水、京の絵師、尾形光琳や伊藤若冲の作品などを併せて、都で花開いた典雅な世界をお楽しみください。

講演会

○「京焼と琳派」

講師：小林忠（岡田美術館館長）

日時：2017年12月3日（日）

○「仁清と乾山－絵と焼物という視点から－」

講師：伊藤嘉章氏（九州国立博物館副館長）

日時：2018年3月18日（日）

時間：午後1時～午後2時30分

会場：5階ホール

定員：80名

参加費：無料（要入館料）

お申し込み方法
電話でお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。

☎ 0460-87-3931

ギャラリートーク

毎月第2水曜日開催
11月8日、12月13日、1月10日、
2月14日、3月14日

○学芸員によるギャラリートーク
11月10日～3月23日
毎週金曜日開催
※いずれも午前11時～
申込不要・参加無料（要入館料）

京のやきもの



色絵秋草文茶碗



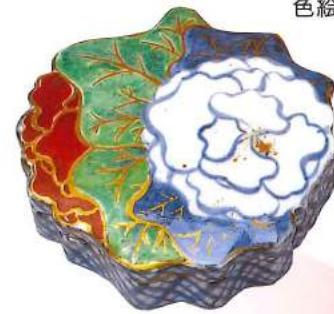
色絵花唐草文七宝透彫段重



野々村仁清
鎔繪雁香合



重要文化財
野々村仁清
色絵輪宝羯磨文香炉



尾形乾山
色絵立葵図香合



尾形乾山
色絵菊文透彫反鉢

乾山



重要文化財
尾形乾山
色絵竜田川文透彫反鉢

Ninsei & Kenzan

Ceramics and Painting in Kyoto



尾形光琳
菊図屏風

京で活躍した絵師たち

伊藤若冲

